

発行日 平成23年10月5日  
 発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会  
 神戸市中央区神若通5丁目3番26号  
 (中山記念会館内 神戸ライトセンター)

# 第25回兵庫県朗読ボランティア連絡会交流会のご案内

日時： 2011年11月10日(木)  
 13:00~16:00 (12:30開場)

場所： 兵庫県民会館 9階 「けんみんホール」



## ＜プログラム＞

第1部 朗読発表 むれの会 (三木市)  
 『約束』『30%の幸せ』より 内海 隆一郎 作  
 せせらぎ (たつの市)  
 『冬の蟬』 杉本 苑子 作

第2部 講演 講師 飯原 道代 (ナラティブシアター 土の子)  
 ピアノ 中田 良

I部 声とことばの表現あそび・50音をたしかめる  
 II部 詩とうたと音楽のステージ「ことばうた」



なにもないうかんに/せかいをひろげて/おもてなしいたします  
 じゆうじざいに/ごらんください

ポシエツト106号でご案内をしましたところ、多数のお申込をいただきました。ありがとうございます。皆様にご満足いただけるよう現在準備を進めているところです。

是非、楽しみにお待ちしております。



## 交流会の詳細をご紹介します

### 朗読発表

「約束」 「30%のしあわせ」より **内海 隆一郎 作**  
むれの会

あらすじ：老いた二人の友情と約束。今年6月に亡くなった母の姿に重ねて、人生の終りを深く考えさせられました。仲間のはげましにささえられ、私も一歩前進したいと思います。

「冬の蟬」 **杉本 苑子 作**  
せせらぎ

あらすじ：小心で真面目だけが取り柄の貧乏旗本山田十太夫。その娘の佐喜が蟬の抜け殻を探しに森へ…そのあと舞い込んでくる縁談と我が身の昇進話。はたして十太夫は出世できるのか？また、佐喜が空蟬にこめた願いは叶うのか？

### 講演

#### 飯原 道代 さんの紹介

俳優。子どもたちとの創作、ワークショップ活動を展開し、ことばと音楽を中心にした創作活動を実践している。おもな舞台は、詩とうたと音楽のステージ「ことばうた」、ナラティブシアター土の子「あらしのよるに」。また三上満氏と松野迅氏（バイオリン）による舞台「星めぐりのうた」では宮沢賢治作品の朗読をつとめている。

新劇俳優協会、詩の朗読MINI FESTIVALにおいて最優秀賞を二度受賞している。

#### 中田 良 さんの紹介

桐朋学園音楽大学卒業。ロータリー財団の奨学金を得て渡米。マンハッタン音楽院大学修士課程修了。1997年NYデビューシリーズオーディションで選抜、カーネギーホールにてソロリサイタルを行う。

現在は室内楽、伴奏などの音楽活動を行っている。

☆\*:\*:\*:\*☆\*\*☆\*:\*:\*:\*☆\*\*☆\*:\*:\*:\*☆\*\*☆\*:\*:\*:\*☆\*\*☆\*:\*:\*:\*☆\*\*☆\*:\*:\*:\*☆\*\*☆\*:\*:\*:\*☆\*\*☆\*:\*:\*:\*☆\*\*☆

## 第10回 山田朗読研究会

朗読ライブを満喫しました！！！！

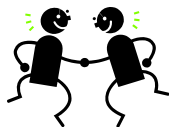
淡路市 グループちひろ 東根孝子

何年ぶりだろう、わくわくしながら大急ぎで県民ホールへ。すでに大勢の人々、やっと席を見つけホッとして腰かける。

始まった！朗読者が登場人物の気持ちを込めて情景が浮かび上がり、臨場感たっぷりで引き込まれる。身を乗り出して聞き入る。

6本の作品それぞれに趣が異なり、作品と朗読者がひとつになっていて素晴らしかった。笑ったり・涙ぐんだり、私もその中に入っていた。時のたつのも忘れていた。

「思い切って出かけてきてよかった。朗読を十分に楽しませて頂いた」と、同行者と話しながら帰途に着いた。



# グループ紹介 数珠繋ぎ



グループ紹介数珠繋ぎは 11 回目を迎えます。今回は B-8 神戸市「朗読ボランティア わっしょいわっしょい」と C-1 洲本市「樫の木グループ」を紹介します。

## 神戸市 わっしょいわっしょい

私たちのグループは、平成 14 年 9 月神戸市民福祉大学「朗読ボランティア講座」修了生で立ち上げ、活動（子供たちへの読み聞かせ、高齢者施設訪問、対面朗読など）をスタートしました。

高齢者施設訪問では、朗読だけではなく目でも楽しんで頂こうと、大型紙芝居（80×110cm）を作成し提供しています。

個性豊かなメンバーに加え（多分？この No.107 が発行される頃には・・・）、今年度講座修了生のフレッシュなメンバーを迎えて、ますます充実した活動を続けて行けるように頑張ります。これからもどうぞよろしくお願い致します。

梶本 正子



## 洲本市 樫の木グループ

「樫の木グループ」は淡路島で活動しているグループの一つですが、視覚障がい者の方々の読書のお手伝いがしたいと 1974 年に立ち上げられ、今年で 37 年を迎えます。

現在メンバーは 12 名。主な活動は、オリジナル版「かしの木」、健康雑誌（月刊誌）、依頼本、蔵書などの録音図書製作です。現在デジタイズ図書の利用者も増え、テープと CD の 2 本立ての製作ですが、少人数ながらフル活動で頑張っています。その他、視覚障がい者青い鳥学級のお手伝い、図書館の新刊案内（テレフォンライブラリー）なども行っています。

利用者の方は口コミで全国各地へと広がり、多くの方々が私たちの録音図書を聴いてくださっています。その為、どなたにも聴きやすく、内容が伝わる朗読、音訳を心がけ、毎週勉強会を開き朗読技術の向上を図っています。

何だか硬いグループのようにも思えますが、本好きな仲間だけにおしゃべりも大好き！遊びから政治経済？井戸端会議に花を咲かせながら、ボランティア活動を楽しんでいます。

大変硬い木で、杖の材料にもなる「樫の木」のようにしっかりと視覚障がい者の方々の支えになる活動を続けていきたいと思えます。

瀧川 さよ子

お知らせ

ポシェットがインターネットで見られます！

ポシェットは 103 号から、神戸ライトセンターのホームページに掲載されるようになりました。神戸ライトセンターのホームページ（<http://www.klc.jp.org>）を開き、所属団体の項目から「兵庫県朗読ボランティア連絡会」をクリックしてご覧ください。



